

カーボンベルト取扱説明書

「カーボンベルト」は伸びの少ない高強度なベルトを使用しており、ダイレクトなペダリングを可能にしたベルト駆動システムです。その特性上、従来のチェーン車、ベルト車（「フローティングベルト」「スマートベルト」）と取り扱いが異なります。

必ず本取扱説明書をお読みになり、点検及びお手入れをする際は以下の手順で行ってください。

1. 点検のしかた

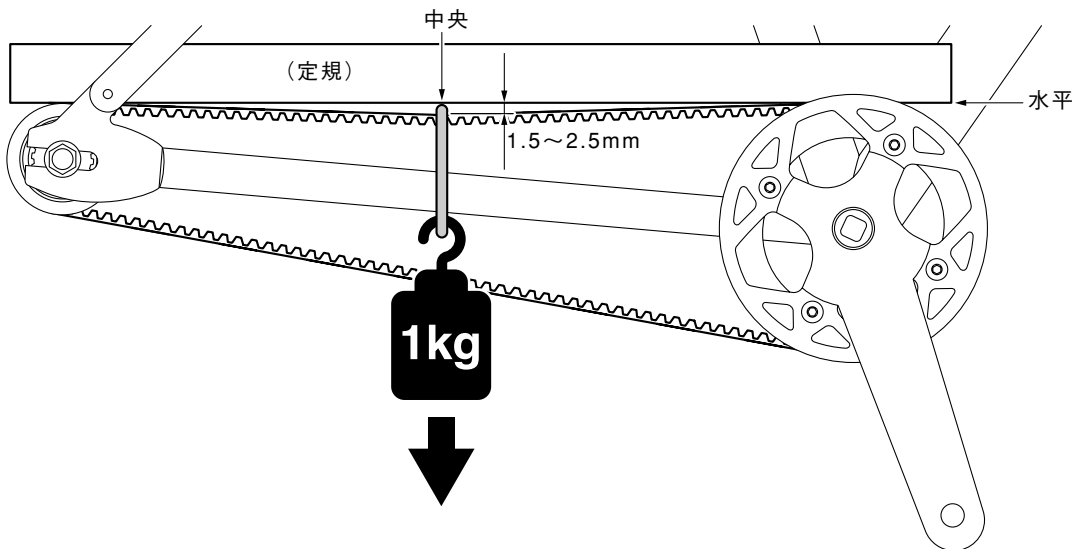
「カーボンベルト」は工場出荷時に調整されていますが、以下に従ってベルトの張りを点検してください。ベルトの張りが弱いときは販売店に調整を依頼してください。

点検ポイント

ベルトの中央部を1kgの力で押したときベルトのたわみが1.5～2.5mmのたわみであること。

ベルトのたわみの測り方（例）

- ①ベルトの上面が水平になるようにして、前後プーリー間中央に1kgの重り（500mlペットボトル2本等）を掛ける。
- ②ベルト上面に定規（直線な物）を渡し、ベルト上面と定規の隙間を測る。



⚠ 注意

- カーボンベルトは別冊の取扱説明書の「点検方法」のページに記載の（従来型）ベルト（「フローティングベルト」「スマートベルト」）のたるみ量とは異なります。
- ベルトの張りが弱いと歯飛びを起こしやすくなり、ベルトの寿命低下の恐れがあります。クランクの回転が重く感じられても、ベルトの張りを基準以下に緩めないでください。
- ベルトの張りが強い場合、手でクランクを回すと回転が重く感じられます。これはカーボンベルト特有の現象で異常ではありません。

2. お手入れのしかた

ベルト、前後プーリに付着した泥や汚れはふき取ってください。泥や汚れの付着は異音や磨耗の原因になります。

長く使用しているとベルトの歯面に白い繊維が露出しますが、異常ではありません。

⚠ 注 意

- 汚れをふき取るときはフレームや部品の角に注意してください。ぶつけたり引っかけたりしてけがをするおそれがあります。
- クリーナーや洗剤を使用しないでください。ベルトのひび割れ、変色、変形の原因となります。
- クランクのプーリ固定ボルト、ナットは接着されています。分解や増し締めをしないでください。緩みの原因となります。

3. 修理を依頼する前に

「故障かな?」と思われたときは、販売店に修理を依頼する前に以下のチェックを行ってください。

現 象	原 因	対 応
ベルトの歯飛びが起きる (坂道走行やスタート時ベルトより「バチッ」と音がする現象)	・ ベルトの張りが弱い ・ ベルトに歯欠けが生じている(歯元クラックや歯のせん断) ・ フロントプーリが磨耗している ・ リアプーリが磨耗している	販売店にご相談ください
点検時、手でクランクを回すと(通常のチェーン車や従来型ベルト車に比べて)回転が重く感じる	カーボンベルト特有の現象 ベルトの張りが高い (ベルトのたわみが 1.5mm より小さい)	『1.点検のしかた』に従って、ベルトの張りをご確認ください 販売店にご相談ください
点検時、手でクランクを回すと(通常のチェーン車なみに)回転が軽く感じる	ベルトの張りが低い (ベルトのたわみが 2.5mm より大きい)	販売店にご相談ください
ベルトから異音がする	・ プーリ歯面の汚れ ・ ベルト歯面の汚れ	『2.お手入れのしかた』に従って、清掃してください それでも直らない場合は販売店にご相談ください
	・ 後輪が傾いている ・ ベルトが磨耗している ・ フロントプーリが磨耗している ・ リアプーリが磨耗している	販売店にご相談ください